

勤勉、国民の中堅、儀表として郷党州閥（きょうとうしゅうりょ）の間に尊敬せらるる人にして、始めて戦場の勇者たり得べし。これを今日の軍隊教育の根本主義となす」

こうして陸軍は、ただ若者を鍛錬して兵員にするだけではなく、中隊は家族であり、教育の場であるということを前面に押し出していきます。また、下士官を庇護し、権威を与えるとする施策も行われます。

今回は、あまり衛生部の内容に触れることができませんでしたが、次回以降の前提となる話題ばかりです。次回は世界大戦と学制改革などについて聞いていただきましょう。

### ○ 御由緒

豪徳寺周辺は、武蔵吉良氏の居城・世田谷城の一部であつたようです。文明12（1480）年に時の城主・吉良政忠が伯母である弘徳院のために建立した「弘徳院」が豪徳寺の前身ですが、豊臣秀吉の小田原征伐により天正18（1590）年に世田谷城は廃城となってしまいます。



## 楓之典君乳母草子外伝

続猫様詣まうで——豪徳寺1

中條 恵子 陸自85

都人もするる寺社参りを再び乳母もせむとてかちより詣けり

秋のお彼岸の頃、猫様と楓之典君の父上に導かれ、招き猫縁起でこちらも名高い豪徳寺を参拝して参りました。

その後、世田谷が彦根藩所領地となり、寛永10（1633）年に「弘徳院」は藩主・井伊家の江戸菩提寺となります。万治2（1659）年には2代藩主井伊直孝の法号「久



聖観世音菩薩立像、文殊菩薩坐像、普賢菩薩座像、地藏菩薩立像が安置され、寺宝の「井伊直弼肖像画（井伊直安作）」も飾られています。



並んでいます。平成20（2008）年には、清涼寺（滋賀県彦根市）・永源寺（東近江市）の墓所と共に国史跡に指定されています。幕末の大老井伊直弼の墓は、東京都指定の史跡です。

#### ○ 乳母の眩き



猫様に引かれてお江戸世田谷まで詣でてみれば：猫観音様を拝し、三重塔に刻まれた猫様や奉納された数多の招福猫児を愛で、井伊家墓所を拝見して、お彼岸にご先祖様への感謝も新たにいたしました。乳母の里のお寺様は豪徳寺と同じ曹洞宗の高龍寺でございます。またまた何かのご縁を感じつつ、楓之典君の待つ邸を目指して帰途に着いたのでございました。

○ 井伊家墓所と井伊直弼の墓  
境内の一角を占める彦根藩主井伊家墓所には、幕末の大老13代直弼の墓をはじめ、歴代藩主や正室たちの墓が

令和八年、楓之典君とともに新年を寿ぎ、皆様の招福をご祈念申し上げます。